

日本建築学会北海道支部2005年度第3回常議員会議事録

記：小篠

日時：平成17年12月5日17：30～19:00

場所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席：支部長：城

常議員：飯田、塚田、鳥谷部、南出、米田、澤田、田中、玉木、藤原、小篠

事務局：菊地

配布資料

理事会・支部長会議報告	回覧資料
2005年度建築文化週間実施報告	資料3?1
道内工業高校巡回講演会経過報告	資料3?2
中長期戦略WG委員会報告	回覧資料
第25回北海道建築作品発表会実施報告	回覧資料及び 別添資料
「耐震強度偽装問題」について	資料3?3
2005年度第2回常議員会議事録確認	資料3 - 4
支部経理報告	資料3 - 5
事業主査連絡会報告	資料3?6
第79回支部研究発表会について	資料3 - 7
次期支部役員候補者について	資料3?8
創立120周年記念事業日本建築学会功労賞について	資料3?9
2006年度建築文化週間及び特定課題委員会の募集について	資料3?10
2006年度支部通常総会日程について	
日本建築学会大賞候補者について	
創立120周年記念事業「社会ととに・建築」支部共通事業について	資料3?11

議事内容

【報告・承認事項】

- 理事会・支部長会議報告 (南出/資料3 - 1)
- ・ 大会の選考委員の選考（藤森、三宅）
 - ・ 中山間地域の防災問題に対する提言
 - ・ 小学校保存の要望
 - ・ 代議員選挙の定数データ置き
 - ・ 120周年記念事業
 - ・ 功労者表彰候補者推薦
 - ・ 2006年度特色ある支部活動（北海道、中国支部が当選）

2005年度建築文化週間実施報告 (飯田/資料3?1)

- ・ 2つのテーマを無事終了。

道内工業高校巡回講演会経過報告 (飯田/資料3-2)

- ・ 札幌、小樽、室蘭、美唄で計画

中長期戦略WG委員会報告 (支部長/回覧資料)

- ・ 会員動向、支部組織、活動、運営費、支部企画行事をキーワードにして議論
- ・ 次回からは、学術委員会、事業委員会より動向を聞く。
- ・ 第2回をあさって行う。

第25回北海道建築作品発表会実施報告 (小篠/回覧資料)

- ・ 12月2日、道立近代美術館にて実施。

・

「耐震強度偽装問題」について (飯田/資料3-3)

- ・ 会長直属の調査委員会を設置し、会長声明を出す予定。
- ・ 支部レベルでは、本部の動向に倣うが特別アクションをおこすことは現時点ではない。
- ・ 構造技術者協会が耐震診断を無料で行うことにしたが、技術者提供に協力。

その他

- ・ 特段になし。

・

【議題】

2005年度第2回常議員会議事録確認 (支部長/資料3-4)

- ・ 議案通り承認。

支部経理報告 (支部長/資料3?5)

- ・ 運用状況は正常に運営されているとの報告を承認。

・

事業主査連絡会 (小篠/資料3?6)

- ・ 設計競技委員会/作品展示について 応募者にデータ提出を求め、HP上で公開する方向で検討する。
- ・ 卒業設計審査委員会/Web展示について常議員HP担当と主査が掲載手法の具体的手法をつめる。
- ・ 建築賞と作品発表会/必要な場合は、作品発表会で発表された作品を参考とし、その中から候補となるものをノミネートすることができるようにする。そしてノミネートされた作品に対して、建築賞の応募規定にある資料提出を求める。このプロセスを建築賞の応募規定、あるいは内規に明文化する。建築賞委員会で検討してもらう。

第79回支部研究発表会について (飯田/資料3?7)

- ・ 2006年7月1日東海大学で開催を承認。

次期支部役員候補者について (支部長/資料3?8)

以下の候補者を本部へ推薦することとした。

- ・ 支部長候補：絵内
- ・ 常議員候補：伊藤(大成)、桂(北総研)、鈴木(道工大)、斉藤(ドーコン/幹事候補)、深澤(SAアーキテクト)、星(札幌市/幹事候補)、溝口(室蘭工大)、渡邊(アトリエアク)

- ・ 代議員候補：武田（道工大） 中岡（北海道） 藤島（TAU 設計工房） 向山（石本設計事務所）
- ・ CPD の委員について：引き続き鳥谷部氏にお願いする。
創立 120 周年記念事業日本建築学会功労者表彰について （支部長 / 資料 3?9）
- ・ 千葉純（北海道指導センター） 長島弘（元北見工大教授） 浜島国四郎（元函館工業大学教諭）の
3 氏を推薦することとした。
2006 年度建築文化週間及び特定課題委員会の募集について （飯田 / 資料 3?10）
- ・ 募集要項は資料通りに承認
2006 年度支部通常総会日程について （支部長 / 資料なし）
- ・ 2006 年 5 月 19 日（金）に決定。
日本建築学会大賞候補者について （支部長 / 資料なし）
- ・ 柴田道工大学長を推薦。
- ・ 構造よりも建築教育で業績を主とし、構造本委員会、建築教育系の委員会に声をかけて推薦応援を
依頼する方向で準備する。
創立 120 周年記念事業「社会とともに・建築」支部共通事業について （支部長 / 資料 3?11）
- ・ 提案競技の実施には、市町村との調整に時間を要する。予算的にも厳しい。
- ・ 建築文化週間で定例的に建築賞の作品受賞講演会を位置づけることで、来年は、120 周年記念事
業に位置づけたらどうか？
- ・ 写真および絵画コンクールについては、できるだけの範囲で協力する。
- ・ 親と子の都市と建築講座についても開催の協力をする。
- ・ 作業所に限らず、建築作品を含めた見学会とする。
- ・
- その他
- ・ 次回は 2006 年 3 月 10 日（金）